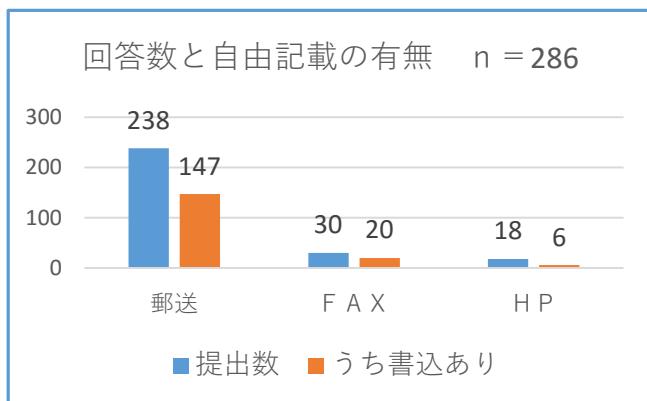


集計状況



郵送、FAX、ホームページから**286件**の回答があり、そのうちの**173件(60.5%)**に自由記載欄への書き込みがありました。

1枚で数件の記載があるものもあり、項目数は**217件**となっていますが、前回の**322件**より**3割ほど**少なくなっています。

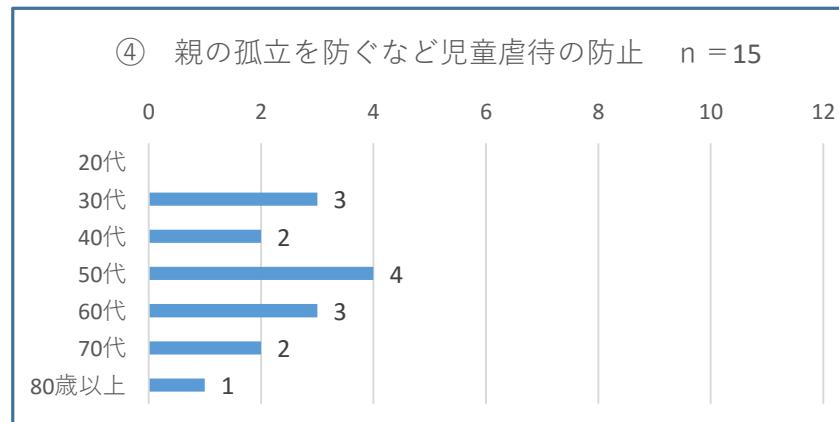
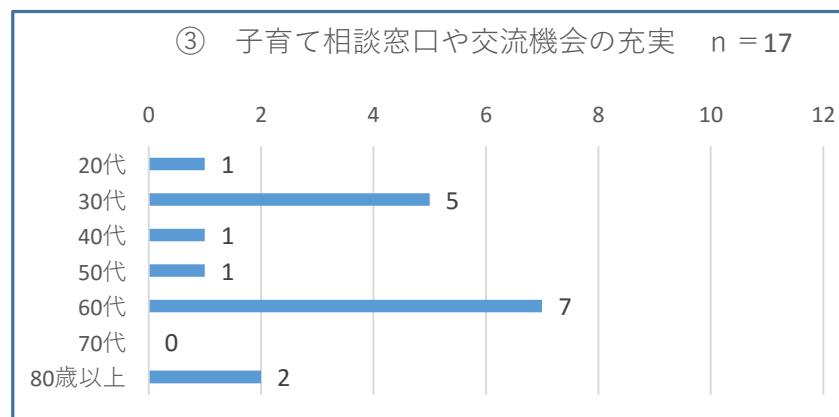
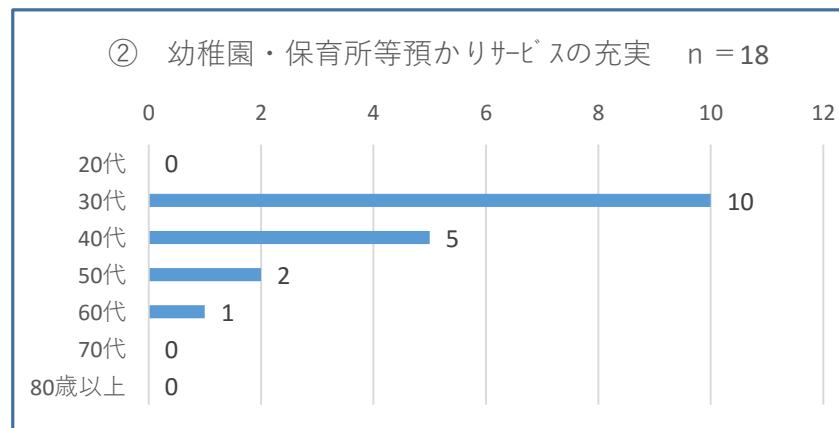
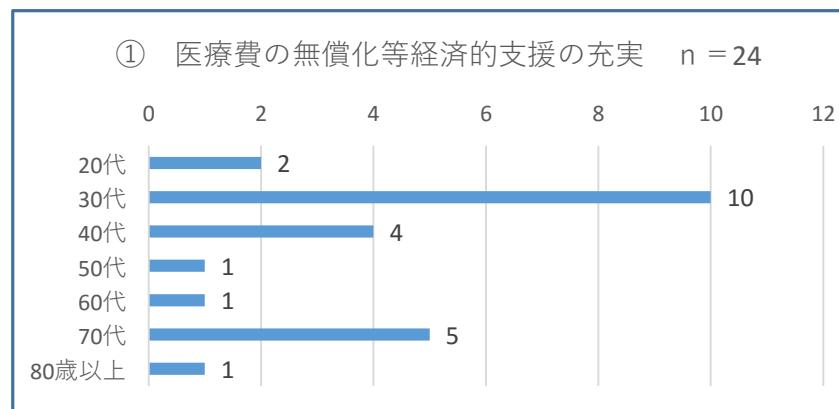
自由記載の内容

就学前ニーズ調査問34、小学生ニーズ調査問33-1（市が重点的に取り組む必要が高い項目）にあてはめて分類しました。その他については、意見が2件以上あった10項目とそれらに分類されないものに分けて記載しています。

自由記載の内容



上位4件の年代別ニーズ



前回調査との比較

■上位の2項目は、前回と同じ順位  
子育てに伴う経済的支援の充実は、前回に引き続き第1位となりました。

内容としては、前回保育所の負担軽減を求める声が多かったのに対し、今回は保育料無償化を受け、医療費の無償化拡大（小6から中学、高校までの通院費無料）を望む声が多くなりました。

保育所幼稚園など預かりサービスの充実については、ほとんどが保育所に関する入園などに関する声が多くありました。

待機児童問題については、児童数の減少により、今後5年間で解消に向かう見込みです。

■相談や交流機会が9位から3位へ

子育て相談窓口や交流機会についての30代の意見では、第1子を対象としている「ばぶばぶ」「とことこ」に第2子、第3子でも参加したいという声が多くありました。

60代からは核家族化への懸念や地域での交流機会に関する意見が多くありました。

子育て総合支援センターだけではなく、民営の子育て支援センターやあそびの広場も視野に検討します

■児童虐待への関心の高まり

前回調査では記載の無かった児童虐待への関心が高まっています。アンケート調査時に虐待に関するニュースが多かったことも背景にあると考えられ、各年代から意見が寄せられました。

今回の計画では、子どもの貧困や児童虐待の防止について、明確に位置づけ、検証していく予定です。